

調査報告書

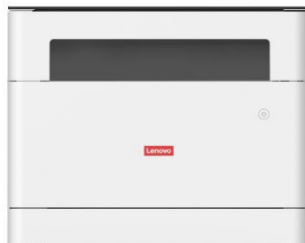
2019年版 [トナーマーケット総覧]

『事業の健全性が
問われるトナー
業界の将来性』

=HP、米・ゼロックスの最新動向と環境規制、トータルコスト削減の動きを追う=



主要メーカーとして
いち早くチタンレストナーを採用
コニカミノルタ「bizhub C360i」



中国はこれまでのアフター市場だけでなく、
OEM市場での拡大も視野 レノボの自社開発機「M101DW」



アート作品とコラボした三笠産業の蛍光トナー



2019年8月

日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

***2019年版 [トナーマーケット総覧] ***

『事業の健全性が問われるトナー業界の将来性』

＝HP、米・ゼロックスの最新動向と環境規制、トータルコスト削減の動きを追う＝

II. 調査主旨

トナー事業を取り巻く環境が大きく動き始めている。

米・ゼロックスがHPからOEMを受けるA3MFPに自社のケミカルトナーを初めて搭載することが決まった。また、ロッテファインケミカルから受けていたケミカルトナーを三菱ケミカルに変えるなど、HPのトナー供給関係が大きく動き始めている。

また、中国の環境規制の影響もある。化学工場の爆発事故により、色材のイエローの材料がメーカーによってはストップし、奪い合いが始まっている。そのため、材料の中国価格が一気に4-5倍に上昇して混乱している。

新しいトナーとしては、コニカミノルタが第五世代トナーを発売し、さらなる画像の改善を進めている。さらに、改善したトナーの出荷が近いと噂される他のメーカーもある。

トナー事業の利益構造に関係の深い「サービス」「配送」「販売ルート」なども変わりつつある。ハードのサービス回数の減少に伴い「サービス部門の統合」、配送コストを圧縮するために「色別トナーの配送をまとめ配送に変える」、販売コスト圧縮のため「ハードの直販比率を下げる」などトナー事業利益と密接な動きが活発に行われている。

こうした状況の中で、トナーメーカーはどのような動きを取っているのか。販売量、販売金額、コスト、販売地域、技術動向さらには10年先を見越した動き提携の動きはないのか。

純正トナーメーカーだけでなく、年々存在感を高める中国のサードパーティトナーメーカーの動向が、次々と中国製プリンタメーカーが名乗りを上げている中でどう動いているのか。

トナー事業の変化は、当然樹脂、色材、キャリア、磁性粉、CCA、WAX、カーボンブラックの各業界にも大きな影響を与える。

本年のレポートは、こうした動きに対応したトナー及び関連業界の動向を開発から生産、納入関係など詳細に調査・分析を実施するもので、よって関係各位の事業発展のための一助になることを望みます。

III. 調査対象品目

1. 調査対象品目

- 1) トナー：(1) 粉砕トナー (カラー、モノクロ) (2) ケミカルトナー (カラー、モノクロ)
- 2) トナー用レジン：(1) ポリエステル系レジン (2) スチレン-アクリル系レジン (3) その他
- 3) キャリア 4) 磁性粉 5) 荷電制御剤 (CCA) 6) カラートナー用色材
- 7) 外添剤 8) カーボンブラック 9) トナー用WAX 10) その他関連品目

2. 調査対象先

- 1) 主要メーカー・販社：トナーメーカー [国内外75社] / トナー用レジンメーカー [22社] / キャリアメーカー [4社] / 磁性粉メーカー [4社] / CCAメーカー [10社] / 色材メーカー [9社] / 外添剤メーカー [14社] / カーボンブラックメーカー [3社] / WAXメーカー [9社]
- 2) その他関連メーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲：調査対象範囲は2017年～2023年とする。

2. 調査方法

- (1) 取材対象メーカー及び関連メーカーへの直接訪問面接調査。
- (2) 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査。
- (3) 弊社に蓄積されているデータの活用。

V. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。

2. 調査期間：2019年7月～8月中旬

3. 調査報告書 (A4判簡易製本)：2019年8月27日

4. 1社あたりの参加費用：¥600,000- (消費税は別)：英文版\$6,000-

5. 調査担当 山本 幸男、吉田 晃介、針生 正史

e-mail:yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp

TEL:03-3831-9201、FAX:03-3831-9204、ホームページ：http://www.datasupply.jp/

「分析編」からの抜粋

(実際のレポートには、実数・コメントがあります)

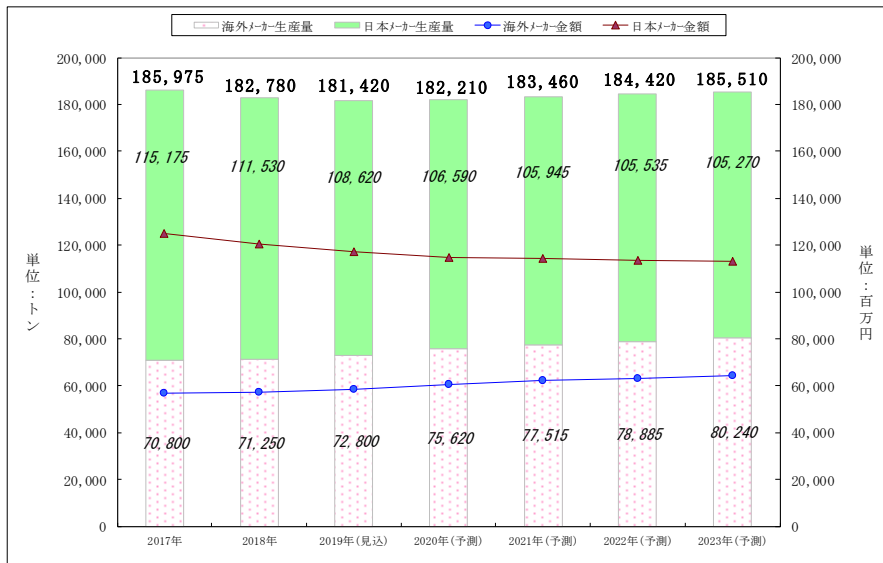
3) オフィス向け/プロ向けのトナー生産量内訳 (2018年)

	用途	生産量 (トン)		生産金額 (百万円)	
			%		%
日本	オフィスプリンティング	97,925	53.6	104,280	58.4
メーカー	プロダクションプリンティング	10,965	6.0	12,850	7.2
	コンピューター				
小計					

A. 分析編

1. 全世界でのトナー生産動向

1) 日本/海外メーカー別全体生産量推移 (2017年~2023年)



単位: トン

	2017年		2018年		2019年(見込)		2020年(予測)		2021年(予測)		2022年(予測)		2023年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
海外メーカー生産量														
対前年比														
日本メーカー生産量														
対前年比														
合計														
対前年比														

単位: 百万円

	2017年		2018年		2019年(見込)		2020年(予測)		2021年(予測)		2022年(予測)		2023年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
海外メーカー金額														
対前年比														
日本メーカー金額														
対前年比														
合計														
対前年比														

2018年のトナー市場において、本メーカーでは、プロダクション

.....

「分析編」からの抜粋

4) 酸化チタン使用規制へのメーカー別対応

(1) 欧州における規制問題の概要

酸化チタンは帯電制御やシリカの環境対応力の弱さを補う材料（外添材）として、カラートナーを中心に使用されているが、その健康リスク問題が欧州で再燃している。

2016年6月	フランス食品環境労働安全庁（ANSES）が欧州化学物質庁（ECHA）に対して、酸化チタンの発がん性カテゴリを区分「区分1B」（ヒトに対して発がん性を持っていると推定される）に引き上げるよう提案。
2017年6月	ECHA傘下のCommittee for Risk Assessment（RAC）は、「区分1B」への引き上げを見送りとしたが、「区分2」（ヒトへの発がん性が疑われる）とする判断を下した。この区分判断は、EU内で別条項がある品目については例外条項となる。このため、化粧品、食料品、医薬品は規制対象外。影響を受けそうなのは塗料、インキ、トナーなど。
2019年8月現在	RACのレポートを受けて、ECHAが発がん性最終カテゴリを決定する予定。現在の最新情報では、酸化チタンの含有量がトナー全体の1%までであれば問題なしという方向で決定がなされる見通しとなった。時期的には2019年年9月に決定がなされ、そこから2ヶ月の意見を募って、同年11月に最終決定の見込み。規制が施行されるのは最短で2021年5月（最終決定から16か月後）の予定。

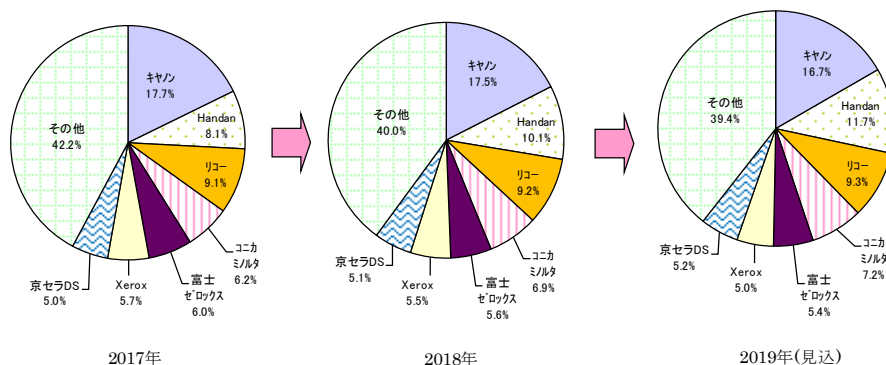
(2) 主要各社の

メーカー
キヤノン
リコー
富士ゼロックス
コニカミノルタ
京セラドキュメントソリューションズ
シャープ
東芝テック

8) メーカーシェアの推移(2017年～2019年) (1) 全体

単位:トン

	2017年		2018年		2019年(見込)	
		%		%		%
キヤノン						
Handan Hanguang OA Toner						
リコー						
コニカミノルタ						
富士ゼロックス						
Xerox Corporation						
京セラドキュメントソリューションズ						
Trend Tone Imaging						
巴川製紙所						
アイメックス						
花王						
シャープ						
東芝テック						
Jadi Imaging Technologies Sdn Bhd						
その他						
国内・海外の総合計						



2018年のトナー生産量メーカーシェアのトップ3は、キヤノン(全体の17.5%)、Handan Hanguang OA Toner(同10.2%)、リコー(同9.2%)でHandanが2位に浮上した。

日本メーカーでは、コニカミノルタ、京セラドキュメントソリューションズ、シャープの3社がシェアアップした。

海外メーカーでは中国のHandan Hanguang OA Tonerのみがシェアをさらに拡大した。

「トナー市場編」からの抜粋

4) トナーの技術開発動向

4) - 1. ケミカルトナー

(1) 懸濁重合法

懸濁重合トナーの研究開発は行っていない。

(2) 乳化重合法

	2018年	2019年
研究開発の状況	2019年に当社としては第5世代となる新トナーの量産をスタートした。前世代のハイブリッドトナーの進化系で、基本的な作り方は変わらないが、ポリエステルを外添だけでなく、コアにも含有させた、低温定着性能の向上に加え、微粒	

(5) 工場別生産内訳(2018年)

単位：トン

生産設備の状況 (生産拠点、ライン)	粉砕トナー		ケミカルトナー		合計	
		%		%		%
研究開発の状況	キヤノン化成					
	上野キヤノン マテリアル					
	大分キヤノン マテリアル					
生産設備の状況 (生産拠点、ライン)	国内拠点	計				
	バージニア工場 (米国)					
問題点	海外拠点	計				
	合計					
		%				

4) - 2. 粉砕トナー

研究開発の状況
生産設備の状況 (生産拠点、ライン)

① 大分キヤノンマテリアルが全体の過半数を生産するメイン工場。

② 上野キヤノンマテリアルは複写機用トナーのメイン工場。

[目次]

A. 分析編

1. 全世界でのトナー生産動向	1
1) 日本／海外メーカー別全体生産量推移 (2017年～2023年)	1
2) 用途別・成分別生産量全体推移 (2017年～2023年)	2
3) オフィス向け／プロ向けのトナー生産量内訳 (2018年)	4
4) 酸化チタン使用規制へのメーカー別対応	5
5) 付加価値トナーの用途と生産量	6
6) 製造方法別種類別生産量推移 (2017年～2023年)	7
7) OEMとサードパーティ向けのトナー生産量 (2017年～2019年)	8
8) メーカーシェアの推移 (2017年～2019年)	9
(1) 全体 (2) OEM (3) サードパーティ	
9) ケミカルトナーのメーカー別参入状況	12
(1) 全体 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分 (4) 磁性1成分 (5) 成分別、色別メーカー別状況	
10) 成分別生産量推移 (2017年～2023年)	16
11) 生産地域別全体生産量推移 (2017年～2023年)	17
12) 成分別メーカー別全体生産動向 (2017年～2023年)	19
(1) 全体 (2) 磁性1成分 (3) 2成分 (4) 非磁性1成分 (5) モノカラー	
13) 用途別メーカー別全体生産動向 (2017年～2023年) (海外メーカー／日本メーカー)	31
(1) モノクロアナログ用トナー (2) モノクロデジタル用トナー	
(3) フルカラートナー (4) モノカラートナー	
2. 北米・南米地域における生産動向	35
1) メーカー別生産量推移 (2017年～2023年)	35
2) メーカー別成分別生産量推移 (2017年～2023年)	37
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分 (4) モノカラー	
3. 欧州地域における生産動向	46
1) メーカー別生産量推移 (2017年～2023年)	46
2) メーカー別成分別生産量推移 (2017年～2023年)	48
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分 (4) モノカラー	
4. アジア・日本地域における生産動向	52
1) メーカー別生産量推移 (2017年～2023年)	52
2) メーカー別成分別生産量推移 (2017年～2023年)	54
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分 (4) モノカラー	
5. ハードメーカー (自社エンジン) とトナーメーカーの供給関係一覧 (2018年実績)	64
1) モノクロPPC 2) モノクロプリンタ・FAX 3) カラーPPC	
4) カラーレーザー／LEDプリンタ 5) ケミカルトナーの使用用途	
6. 関連材料市場動向分析 (2017年～2023年)	69
1) レジン市場 2) キャリア市場 3) 磁性粉市場 4) 荷電制御剤 (CCA) 市場	
5) フルカラートナー用色材市場 6) 外添剤市場 7) カーボンブラック市場 8) ワックス市場	

B. トナー市場編

1. 海外メーカーの生産動向	79
1) 用途別・成分別生産量推移 (2017年～2023年)	79
2) メーカー別生産量全体推移 (2017年～2023年)	82
3) モノクロ／フルカラートナーのメーカー別成分別生産量推移 (2017年～2023年)	84
(1) モノクロトナー (①全体②成分別 a 磁性1成分 b 2成分 c 非磁性1成分)	84
(2) フルカラートナー (①全体②成分別 a 2成分 b 非磁性1成分)	89
2. 海外メーカーの生産拠点一覧	93
1) 北米・南米地域における生産拠点	93
2) 欧州地域における生産拠点	94
3) アジア地域における生産拠点	95
3. 海外メーカーの個別生産動向 (2017年～2023年)	97

<各メーカーに共通>

用途別成分別生産量推移／製造方法別種類別生産量／オフィス向け・プロ向けの生産量内訳／OEMとサードパーティ向け内訳／会社の特徴

[1] Coates Toners (米国) / [2] Cosmo AM & T (韓国) / [3] Handan Hanguang OA Toner / 邯鄲漢光辦公自動化耗材有限公司(中国) / [4] Hubei Dinglong / 湖北鼎龍控股股份有限公司(中国) / [5] Indian Toners & Developers Ltd (インド) / [6] Jadi Imaging Technologies Sdn Bhd (マレーシア) / [7] Kodak (米国) / [8] Lexmark International (米国) / [9] Lotte Fine Chemical (韓国) / [10] Nanjing Teshine Imaging Technologies / 南京新天興影像科技有限公司(中国) / [11] Raven Industries (米国) / [12] Tianjin Synthetic Material Research Institute / 天津市合成材料工業研究所有限公司 (中国) / [13] Trend Tone Imaging / 全通科技股份有限公司(台湾) / [14] Wuhan Pointrole Information Technology / 武漢宝特龍信息科技有限公司(中国) / [15] Xeikon (ベルギー) / [16] Xerox Corporation (米国) / [17] その他メーカー: 1) Beijing Orientusun Technology / 北京東方日佳科技有限公司 (中国) / 2) Beijing Xiongdilian Computer Consumables / 北京兄弟聯電腦耗材有限公司 (中国) / 3) Cangzhou ASC Toner Production / 滄州艾斯克粉業製造有限公司 (中国) / 4) Cangzhou HuiBao Toner Production / 滄州惠寶墨粉製造有限公司 (中国) / 5) Chengdu JSY (Toner & Film) Technology / 成都市佳興源科技有限責任公司 (中国) / 6) CET Group / 中恒集團 (中国) /

7) Core Imaging Technology (韓国) / 8) Excellent Color Technology (HuBei)/優彩科技 (湖北) 有限公司 (中国) / 9) Guangzhou Auking Nanometer Technology / 広州奥晶納米科技有限公司 (中国) / 10) Guangzhou Aumes Digital Technology / 広州奧美司数碼科技有限公司 (中国) / 11) Guangzhou Cetron Office Equipment / 広州携創辦公用品有限公司 (中国) / 12) Guangzhou Shuangyi Sci-technology / 広州市双益数碼科技有限公司 (中国) / 13) Guangzhou VIVID Print Material / 広州麗格打印耗材有限公司 (中国) / 14) Henan Province Lankao Photocopying Supplies Manufacturing / 河南省蘭考德新碳粉有限公司 (中国) / 15) Hubei Far East Zhuoyue Technology / 湖北遠東卓越科技股份有限公司 (中国) / 16) Huinon Toner Industrial / 東莞惠能辦公耗材有限公司 (中国) / 17) Hunt Imaging (米国) / 18) HYB TONER / 珠海好印宝打印耗材有限公司 (中国) / 19) ICMI China / 珠海思美亞碳粉有限公司 (中国) / 20) Integral (ドイツ) / 21) IPM (Imaging Products Manufacturing) (トルコ) / 22) Naghsh Ayandegan Abyaneh (イラン) 23) Ningbo Flexitone New Materials / 寧波佛來斯通新材料有限公司 (中国) / 24) Pure Toners & Developers (インド) / 25) Rathi Graphic Technologies (インド) / 26) Real Color Corporation (中国) / 27) RosToner (ロシア) / 28) Royal Precision Technology / 精御科技股份有限公司(台湾) / 29) Sindoh (韓国) / 30) Tianjin Zhonghuan TCOA Electronics / 天津市中環天佳電子有限公司 (中国) / 31) Troy Group Inc. (米国) / 32) Union Chemical (韓国) / 33) Wuhan Zongxiang Imaging / 武漢宗祥顯影材料有限公司(中国) / 34) Wuxi Jiatang Magnetic Powder / 無錫佳騰磁性粉有限公司(中国) / 35) Wuxi Longkang Electric Technology / 無錫市龍康電器科技有限公司 (中国) / 36) Wuxi Meiling Digital Science and Technology / 無錫美靈數碼科技有限公司 (中国) / 37) Yvian Technology (Zhuhai) / 珠海益泛數碼科技有限公司 (中国)	
4. 日本メーカーの生産動向	1 4 3
1) 用途別成分別生産量推移 (2017年~2023年)	1 4 3
(1) 全世界での生産量 (2) 国内生産分 (3) 海外生産分	
2) 製造方法別種類別生産量 (2017年~2023年)	1 4 8
3) トナー全体の生産量と生産金額 (2018年)	1 4 9
4) メーカー別生産量全体推移 (2017年~2023年)	1 5 0
5) モノクロ/フルカラートナーのメーカー別生産量推移 (2017年~2023年)	1 5 2
(1) モノクロトナー (2) フルカラートナー	
6) トナー製法別のメーカー別生産量推移 (2017年~2023年)	1 5 6
(1) 粉砕トナー全体: ①粉砕モノクロトナー ②粉砕フルカラートナー ③粉砕モノカラートナー	
(2) ケミカルトナー全体: ①ケミカルモノクロトナー ②ケミカルフルカラートナー	
7) トナー成分別のメーカー別生産量推移 (2017年~2023年)	1 6 5
(1) 磁性1成分 (モノクロトナー) (2) 2成分 (モノクロトナー+カラートナー) (3) 2成分 (モノクロトナー) (4) 2成分 (フルカラートナー) (5) 非磁性1成分 (モノクロトナー+カラートナー) (6) 非磁性1成分 (モノクロトナー) (7) 非磁性1成分 (フルカラートナー)	
8) メーカー別レジンの種類別トナー生産量動向 (2018年)	1 7 5
(1) 全体 (2) モノクロトナー (3) フルカラートナー	
9) メーカー別粒径別生産量動向 (2018年)	1 7 9
(1) モノクロトナー (2) フルカラートナー	
10) ハードメーカーへのトナー納入量一覧及びハードメーカーの内製率(2018年)	1 8 3
5. 国内メーカーの国内外生産拠点概要 (直近)	1 8 4
1) 生産拠点一覧 2) 国内の生産拠点一覧 3) 北米・南米地域での生産拠点一覧	
4) 欧州地域での生産拠点一覧 5) その他地域での生産拠点一覧	
6. 日本メーカーの個別生産動向	1 8 7
<各メーカーに共通>	
用途別・成分別生産量推移 (国内生産分/海外生産分) / 工場別生産内訳 / 地域別海外生産の内訳 / 製造方法別種類別生産量 / トナーの生産量と生産金額 / トナーの技術開発動向 (ケミカルトナー / 粉砕トナー / 新興国向けと先進国向けの開発 / 低温定着、環境対応、省電力等) / 付加価値トナー / 成分別・種類別生産量と種類別レジンの購入量 / 色別粒径別生産量 / オフィス向け・プロ向けの生産量内訳 / 供給先別生産量推移 (2017~2019年 / OEM とサードパーティ向け内訳) / 生産・開発拠点動向 / 設備投資及び研究開発費の動向 / 会社概要	
[1] キヤノン / [2] リコー / [3] 富士ゼロックス / [4] コニカミノルタ / [5] 京セラドキュメントソリューションズ / [6] シャープ / [7] 東芝テック / [8] 巴川製紙所 / [9] 三菱ケミカル / [10] 花王 / [11] FDK / [12] サカタインクス / [13] アイメックス / [14] 日本ゼオン / [15] 大研化学工業 / [16] 三笠産業 / [17] その他: [17]-1 沖データ / [17]-2 ダイソーケミックス / [17]-3 DIC / [17]-4 荒木製作所 ※受託加工メーカー / [17]-5 越谷化成工業 ※受託加工メーカー / [17]-6 新光化学工業所 ※受託加工メーカー	
C. レジン市場編	
1. 全世界でのレジン生産動向	3 7 5
1) 日本/海外メーカー別生産量推移 (2017年~2023年)	
2. 日本メーカーの生産動向 (2017年~2023年)	3 7 6
1) 地域別種類別生産量推移 2) 地域別種類別生産金額推移	
3) メーカー別生産動向: (1) 全体 (2) スチレン-アクリル系 (3) ポリエステル系 (4) その他 (ポリエーテルポリオール)	
4) 種類別地域別生産動向 (2017年~2023年): (1) スチレン-アクリル系 (2) ポリエステル系 (3) その他 (ポリエーテルポリオール)	
3. トナーメーカーへのレジン納入量一覧 (2018年)	3 8 5
1) 全体 2) スチレン-アクリル系 3) ポリエステル系 4) その他	

4. レジンメーカーの生産拠点概要	3 8 9
1) 国内生産拠点一覧 2) 海外生産拠点概要	
5. 日本メーカーの個別生産動向 (2017年~2023年)	3 9 2
<各メーカーに共通>	
地域別種類別生産量推移/地域別種類別生産金額推移/トナーメーカーへのレジン種類別納入量/OEM量とサードパーティ量/ケミカルトナーへの対応/生産拠点(国内・海外)/設備投資及び研究開発費の動向/会社概要	
[1] 三洋化成工業/[2] 藤倉化成/[3] 三井化学/[4] 三菱ケミカル/[5] DIC/[6] 花王/[7] 星光PMC/[8] その他メーカー/: 1) 日本カーバイド工業(日本)/2) Tianjin Synthetic Material Research Institute/天津市合成材料工業研究所有限公司(中国)/3) Zhangjiagang Weidisen Chemical/張家港威迪森化学有限公司(中国)/4) Hubei Far East Zhuoyue Technology/湖北遠東卓越科技股份有限公司(中国)/5) Wuhan Hanhu Polymer Material/武漢市漢虎高分子材料有限責任公司(中国)/6) Wuxi Jiateng Magnetic Powder/無錫佳騰磁性粉有限公司(中国)/7) Wuxi Meiling Digital Science and Technology/無錫美靈數碼科技有限公司(中国)/8) Handan City New Toner Resin Limited Company/邯鄲市頂新碳粉樹脂有限公司(中国)/9) Cangzhou Tiantongyuan/滄州天通圓合成材料有限公司(中国)/10) SK Chemicals(韓国)/11) Samyang Corporation(韓国)/12) Shiva Performance Materials(インド)	
D. 関連材料市場編	
1. キャリア市場	4 2 3
1) メーカー別生産量(2017年~2023年) 2) メーカー別生産金額(2017年~2023年)	
3) 種類別メーカー別生産量推移(2017年~2023年):(1) 鉄粉キャリア (2) フェライトキャリア (3) マグネタイトキャリア (4) 樹脂キャリア	
4) 用途別種類別生産量推移(2017年~2023年) 5) 用途別種類別生産金額推移(2017年~2023年)	
6) 種類別粒径別生産量推移(2017年~2023年) 7) コーティング材料別生産量推移(2017年~2023年)	
8) 市場及び技術動向 9) キャリアメーカーの主要納入状況 10) メーカー別生産拠点一覧	
11) 個別メーカー動向:[1]パウダーテック/[2]関東電化工業/[3]DOWA エレクトロニクス/[4]戸田工業	
2. 磁性粉市場	4 5 5
1) メーカー別生産量推移(2017年~2023年) 2) メーカー別納入金額推移(2017年~2023年)	
3) メーカー別主要納入先(2018年) 4) メーカー別生産拠点一覧	
5) 個別メーカー動向(2017年~2023年):[1]戸田工業/[2]三井金属鉱業/[3]チタン工業/[4]関東電化工業	
3. 荷電制御剤(CCA)市場	4 6 2
1) 種類別生産動向推移(2017年~2023年) 2) 最新技術動向:(1) カラー対応(2) 環境対応動向	
3) 価格動向 4) 荷電制御剤メーカーの主要納入状況(2018年) 5) メーカー別生産拠点一覧	
6) 正・負帯電別メーカー別生産動向推移(2017年~2023年):(1) 生産量 (2) 生産金額	
7) 個別メーカー動向(2017年~2023年):[1]オリエン化学工業/[2]保土谷化学工業/[3]クラリアント/[4]藤倉化成/[5]その他:[5]-1 日本カーリット/[5]-2 中央合成化学/[5]-3 Hubei Dinglong/湖北鼎龍控股股份有限公司	
4. フルカラートナー用色材(Y.M.C.)市場	4 8 2
1) 色別生産量推移(2017年~2023年) 2) 色別生産金額推移(2017年~2023年) 3) 市場動向	
4) 主要製品と価格 5) 添加量 6) メーカー別種類別生産動向推移(2017年~2023年):(1) 生産量 (2) 生産金額 (3) 色材メーカーの供給関係	
7) 個別メーカー動向(2017年~2023年):[1]大日精化工業/[2]クラリアント/[3]山陽色素/[4]トヨーカラー/[5]DIC/[6]その他:[6]-1 BASF/[6]-2 富士色素/[6]-3 東京色材工業/[6]-4 大同化成工業	
5. 外添剤市場	5 1 1
1) 外添剤の種類別生産量推移(2017年~2023年) 2) 外添剤の種類別生産金額推移(2017年~2023年)	
3) トナーの種類別外添剤の動向 4) メーカー別特性 5) 主要製品と価格 6) 最近の使用状況	
7) 外添剤の新規参入メーカー動向 8) メーカー別種類別生産動向推移(2017年~2023年):(1) 生産量 (2) 生産金額 9) 外添剤の供給関係 10) 個別メーカー動向(2017年~2023年):[1]エボニック/[2]キャボット/[3]信越化学工業/[4]チタン工業/[5]テイカ/[6]トクヤマ/[7]ワッカー/[8]その他:[8]-1 扶桑化学工業/[8]-2 デンカ/[8]-3 堺化学工業/[8]-4 綜研化学/[8]-5 日本触媒/[8]-6 藤倉化成/[8]-7 日油/[8]-8 SukgyungAT(韓国)	
6. カーボンブラック市場	5 4 6
1) カーボンブラックの生産量/生産金額の推移(2017年~2023年) 2) カーボンブラックの主要メーカー(2018年) 3) 基本的性質と要求特性 4) 主要製品と環境対応 5) OEM量とサードパーティ量	
6) 添加量 7) 設備投資及び研究開発費の動向 8) 会社概要	
7. ワックス市場	5 4 9
1) ワックスの生産量/生産金額の推移(2017年~2023年) 2) ワックスの種類別生産量割合(2018年)	
3) ワックスの種類と参入メーカー 4) ワックスの価格動向 5) 設備投資及び研究開発費の動向 6) 会社概要	
E. 電子写真製品機種一覧	5 5 7
1. PPC(MFP)のトナー成分別主要機種一覧(2015年~)	5 5 7
2. レーザー/LEDプリンタのトナー成分別主要機種一覧(2015年~)	5 7 0
3. プロダクションプリンタのトナー成分別主要機種一覧(2015年~)	5 8 5
4. レーザー/LED FAXのトナー成分別主要機種一覧(2015年~)	5 9 1

* トナーマーケット総覧 既刊案内 *

1. 1986年8月
「トナー及び関連機器市場の総合分析と技術動向」(日)
2. 1989年1月
「拡大するトナー及び応用機器市場の将来性分析」(日/英)
3. 1991年4月
「トナーと関連材料及び応用機器市場の総合分析」(日)
4. 1992年9月
「ファイン化が進むトナーの用途別将来展望」(日)
5. 1993年8月
「世界初の重合トナー上市で活性化するトナー業界の展望」(日/英)
6. 1994年10月
「多様化するトナーの成分別市場と将来性分析」(日/英)
7. 1995年11月
「高画質化する電子写真のトナー市場と需要動向分析」(日/英)
8. 1996年11月
「重合フルカラートナーで揺れるトナー及び関連業界の最新動向」(日/英)
9. 1997年9月
「電子写真の高画質化・カラー化を担うトナー及び関連業界の将来展望」(日/英)
10. 1998年12月
「重合フルカラートナーが牽引する電子写真の高画質化とトナー業界の将来動向」(日/英)
11. 1999年12月
「分岐点にさしかかったトナー業界の現状と将来動向」(日/英)
12. 2001年1月
「重合トナーで変容するトナー業界の将来展望」(日/英)
13. 2002年4月
「重合トナーが加速するトナー市場の構造変化」(日/英)
14. 2003年5月
「重合トナーの増産が続くトナー業界の変化と将来動向」(日/英)
15. 2004年5月
「ケミカルトナーがもたらすトナー業界の最新動向」(日/英)
16. 2005年8月
「ケミカルトナーの活発化で変化するトナー及び関連材料市場の将来動向」(日/英)
17. 2006年8月
「大手メーカーの撤退で揺れ動くトナー及び関連業界の将来性」(日/英)
18. 2007年8月
「高速及びPOD分野を切り開くトナーと関連材料市場の将来展望」(日/英)
19. 2008年8月
「新ケミカルトナーの登場で変容するトナー関連市場の構造分析」(日/英)
20. 2009年8月
「大手ケミカルトナーメーカーの登場で揺れるトナー関連市場の分析」(日/英)
21. 2010年8月
「専業メーカーの撤退が続くトナー関連市場の総合分析」(日/英)
22. 2011年8月
「震災被害を乗り越えたトナー業界の長期展望」(日/英)
23. 2012年8月
「低成長市場にこだむトナー業界の戦略」(日/英)
24. 2013年8月
「新興国市場拡大に期待するトナー業界のゆくえ」(日/英)
25. 2014年8月
「超小粒径トナーが切り拓くトナー業界の展望」(日/英)
26. 2015年8月
「付加価値トナーで市場に刺激を与えるトナー業界」(日/英)
27. 2016年8月
「高耐刷高画質を求め続けるトナー業界の展望」(日/英)
28. 2017年8月
「コスト競争力が市場を立て直すトナー業界の未来図」(日/英)
29. 2018年8月
「環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ」(日/英)

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2019年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日			
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年	
《 2019年刊行予定物 》							
* 2019年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『中国が日本を追い越す感光体業界の実情』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/12	日 英		
* 2019年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (314頁) 『中国・アジアが牽引する産業用インクジェット市場の最新動向』	¥500,000	3/28	\$5,000	6/17	日 英		
* 2019年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『戦略転換が急務のローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/22	日 英		
* 2019年版[トナーマーケット総覧] 『事業の健全性が問われるトナー業界の将来性』	¥600,000	8/27	\$6,000	10/18 頃予定	日 英		
* 2019年版[MFPマーケット総覧] 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12 頃予定	— —	—			
《 2018年刊行物 》							
* 2018年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『固定部品化が進む感光体市場の展望』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/25	日 英		
* 2018年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (270頁) 『産業印刷分野への本格導入が進むインクジェットビジネスの最新動向』	¥500,000	3/29	\$5,000	6/29	日 英		
* 2018年版[ローラー系部品マーケット総覧] (653頁) 『再編か撤退かで揺れるローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/22	日 英		
* 2018年版[トナーマーケット総覧] (607頁) 『環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ』	¥600,000	8/28	\$6,000	10/19	日 英		
中国語版[トナー市場のデータハンドブック] (79頁) 『开始面临环境问题的碳粉行业将何去何从』(PDF版のみ)	¥50,000	(\$450)		10/11	中		
* 2018年版[MFPマーケット総覧] (727頁) 『存在感を増す中国ブランドと事務機業界のゆくえ』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	— —	—			
《 その他の刊行物 》							
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英		
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—			